東京都立墨田特別支援学校・学校通信 第9号



すみだだより

令和7年11月28日

「みんなで楽しく笑顔あふれる文化祭!2025」

副校長 中村浄

来場者の内訳は、保護者601人、来賓・本校関係者等98人、卒業生38人、合計737人でした。本校関係者等とは、旧教職員、関係支援機関、ヘルパーさんなどを含めた方々となります。多くの皆様の御来場は、児童・生徒の「頑張ろう」という気持ちを、さらに高く押し上げていただきました。文化祭練習が始まった頃は、戸惑いや不安を感じてしまい練習にうまく参加できないときもありました。まわりの友達と一緒に繰り返し練習に取り組むなかで、少しずつ完成度を高くしていきました。学年によっては「学期から練習を開始し、準備を積み重ねてきました。

日頃の学習の成果を、それぞれのステージでしっかりと発表できたと思います。もてる力を発揮 し頑張った児童・生徒の表情は、ホッとした安堵感と満足感にあふれていました。

スローガンに込めた思い

文化祭スローガンは、文化祭実行委員会が高等部各クラスから募集し選考を行いました。いろいるな候補があるなか、皆の意見を多く取り入れようとしたところ、最初は大変長いスローガンとなってしまったそうです。そのため、「小学部の児童にも分かりやすく、多く寄せられたフレーズを使いながら文化祭がこうなって欲しい」との思いを込めて決定いたしました。



【|か月前から校内掲示、文化祭への雰囲気を高めました】

展示スペースを広く

昨年度の展示スペースへの反省から、今年度は仮設校舎も図工美術作品の展示場所として使用いたしました。生徒数、学級数が年々増えているため、例年通りの場所では展示作品数を調整する必要があるなど課題となっておりました。仮設校舎を使用することで、各学年の展示スペースにゆとりが生まれ、児童・生徒の作品をより多く展示することにつながりました。児童・生徒の個性あふれる作品を御覧いただけたと思います。

~交流校の展示~

交流校からも毎年図工美術作品を展示していただいております。長浦保育園、八広小学校、寺島中学校、日本橋高校、墨田川高校です。墨田川高校は生徒会の皆さんが前日の夕方に来校し、展示作業を行いました。長浦保育園には、高等部園芸班が季節ごとに「お花のプランター」をお配りし、八広小学校とは年間2回、寺島中学校とは年間3回の交流を行なっています。日本橋高校、墨田川高校とは、お互いの文化祭での作品交流や高等部部活動交流などを行っています。文化祭の目的の一つでもある地域との交流に、御協力をいただいております。



【墨田川高校、日本橋高校の作品】

校外学習(小学部3年)

I ○月 I 6日(木)に葛西臨海水族園に行きました。事前学習では、写真や映像を見て、どんな生き物がいるのか、どんな場所なのかをみんなで確認し、当日に向けて期待を膨らませました。

当日は小雨がぱらついていましたが、バスを降りるとみんなで 手をつなぎ落ち着いて移動することができました。園内に入ると 大きなマグロの水槽を眺めたり、色とりどりの魚を指さしたりと それぞれのペースで楽しみました。中でもペンギンのコーナーが 人気で、水の中を気持ちよさそうに泳ぐペンギンを嬉しそうに見 ていました。学校に戻ってからは、楽しみにしていたお弁当をみ んなで味わい、充実した校外学習となりました。

(小学部3年:山中梨里衣)





移動教室(中学部2年)

IO月 I 6日から I 7日まで I 泊2日で、神奈川県藤野方面に移動教室に行きました。往路のバスの中では、みんなでリクエストした曲を流したり、風船運びをしました。昼食後、宿泊先の藤野芸術の家のクリエーションホールでゲームやダンスをして楽しく過ごしました。

2日目は、工房体験で陶芸の絵付けをしました。白い陶器にシールや絵具で模様を描きました。帰りには、道の駅八王子滝山に寄り、お土産を購入しました。

2日間とも自由時間には、施設内を散策するなど、日々の学校 生活とはまた違った貴重な体験をすることができました。

(中学部2年:岡田光章)





学校間交流 (高等部)

高等部では、近隣にある2つの高校(墨田川高校、日本橋高校)と文化祭の作品展示を通して交流を行っています。今年度の両校の文化祭への展示は、台風や天候に恵まれず、部分的な交流になってしまいましたが、今月行われた本校の文化祭の準備では、両校を招き、一緒に展示づくりを行いました。

また、部活動の交流も行っており、バレーボール部同士で一緒 に練習を行ったり、茶道部や邦楽部(筝)の活動を体験させても らったりと展示以外でも交流活動を行っています。



(墨田川高校生徒会と 本校生徒会生徒)

(支援部:久保 明)